

平成24年度 学校法人関西大学 予算編成の概要

— 国際化推進拠点の開設 —

学校法人関西大学 理事長 上原 洋允



1 予算編成の概要

平成24年度予算は、平成24年3月29日開催の理事会において承認されました。

本法人では、“長期ビジョン”実現のための長期行動計画・中期行動計画を推進しておりますが、社会から求められる大学として存続し、社会的使命を果たすためには、さらに改革を推進していかなければなりません。

そこで、本予算では、財政基盤の確立を目指しつつも、本学のさらなる発展に向けて、諸改革を実行する施策を盛り込んで編成しました。

平成24年度は、本学の国際化推進の拠点となる「関西大学南千里国際プラザ」を開設し、同プラザに「留学生別科（日本語・日本文化教育プログラム進学コース）」を新たに設置するなど、国際化に向けた諸事業を積極的に展開します。

また、教育・研究の充実と高度化に向けた諸事業を実行すると共に、考動する関大人の育成に向けて、その拠点となる各キャンパスの施設・設備を整備するなど、教育環境の充実を図ってまいります。

一方、私立大学をめぐる経営環境は一段と厳しさを増しており、特に“教育の質保証”の観点から「定員管理の厳格化」が求められています。これを受け本学は、現状に則し、入学定員5,935人を6,452人へと変更する収容定員（入学定員）増に係る学則変更の認可申請を行い、昨年6月に文部科学省の認可を得ました。

本法人は、限られた財源のより効率的かつ効果的な活用を図るため、新規事業は既存事業の見直し・改善により展開し、既存事業は優先度等を勘案した事業の「選択と集中」に努め、財政基盤の確立を目指します。

平成24年度の事業計画は、次の「2 事業計画の概要」のとおりですが、今後とも厳正かつ効果的な予算執行を行い、財政の健全化と強化に向けてさらに努力する所存です。

2 事業計画の概要

平成24年度における教育研究活動の事業計画のうち、主なものは次のとおりです。

(1) 教育研究活動関係

ア チュートリアル・イングリッシュの本格的な導入に向けての検討

2カ年に亘り、試行的に実施してきた「Tutorial English（チュートリアル・イングリッシュ）」は、これまでの結果を踏まえ、国際化に対応した人材の育成と学生の外国語運用能力を向上させる施策として、本格的な導入に向けた検討を進めます。

イ 障がいのある学生に対する修学支援体制の整備

全学的な窓口として、授業支援グループ内に「障がいのある学生に対する修学支援チーム」を設置します。障がいのある学生のニーズに応じた修学支援を効果的に行うため、専門のコーディネーターや学生スタッフを配置し、各学部等との連携のもと、支援体制を整備します。

ウ 関西大学南千里国際プラザにおける関西大学留学生別科の開設

本学における国際化推進の拠点となる、「関西大学南千里国際プラザ」は、阪急千里線南千里駅の南東にあり、平成24年2月に完成しました。

この建物は、鉄筋コンクリート造地上8階建て、留学生別科（平成24年4月開設）のための教室・図書室等の教育施設および寮室165室の留学生寮を備えています。寮では、本学の日本人学生が、RA（レジデント・アシスタント）として留学生の日常生活をサポートします。

また、留学生別科（日本語・日本文化教育プログラム進学コース）では、学部・大学院への進学を希望する留学生に対し、本学独自のユニークな授業を展開すると共に、ICT設備を活用して学術活動の基礎となる情報収集能力や分析能力を養成します。

関西大学南千里国際プラザ



西側外観



南側外観



関西大学南千里国際学生寮



エ 関西大学南千里国際学生寮の活用

平成23年度に日本学生支援機構から取得した大阪第一国際交流会館1号館は、阪急千里線南千里駅の北側にあり、「関西大学南千里国際学生寮」として、4月から運用を開始しています。寮室は、144室で、交換受入留学生を中心に、一般学生との国際交流寮として運営しています。

オ 全学的な無線LAN環境の整備・充実

次世代の携帯情報端末の普及などによる学生・教員からの無線LAN環境の整備要請にこたえるため、全学規模で無線ネットワーク基盤を構築し、教育・研究環境のさらなる向上を目指します。

カ キャリア形成および就職支援の充実

開設3年目を迎える社会安全学部および人間健康学部の学生が就職活動を開始するため、高槻ミューズキャンパスおよび堺キャンパスに設置しているキャリアセンター分室の体制を整備し、就職活動のサポート体制を強化します。

また、KICSS（関西大学インターネットキャリア支援システム）に備わっている電子キャリアポートフォリオの機能により、蓄積した自己の学生生活データをもとに、履歴書・自己紹介書、エントリーシートの作成に活用する他、CAPシステムと連動した自己開発支援プログラムの充実を図ります。

この他にも、各学部・大学院における教育改革、教育・研究の充実に係る人的基盤の強化、各界で活躍中の方々を客員教授として招聘するなど、教育研究の質の向上のためのさまざまな施策を推進いたします。

(2) 教育研究施設設備の整備充実関係

ア 高槻キャンパス情報演習棟（仮称）建設工事

高槻キャンパスにおける演習授業の指導環境向上と、学生サービス体制のさらなる充実に向けて、「高槻キャンパス情報演習棟（仮称）」の建設を進めております。平成23年度から平成24年度の2年間にわたり、建築面積約1,900㎡、延床面積約4,600㎡、鉄筋コンクリート造地下1階地上3階建で建設する予定です。

この建物には、総合情報学部の上位年次の演習科目授業を行う演習室をはじめ、高槻キャンパスにおけるキャリア形成支援の中核となるキャリアセンター高槻キャンパス分室や、心理相談等にも対応できる保健管理センター高槻キャンパス保健室等を設置します。

高槻キャンパス情報演習棟（仮称）イメージパース



イ 北陽高中体育館(仮称)建替工事

昭和39年に建設した北陽キャンパス体育館の老朽化に伴い、「北陽高中体育館(仮称)」を平成24年度から平成25年度の2年間で建て替えます。

新たな体育館には、アリーナ、温水プール、柔道場、武道場、トレーニングルームや部室等を設置する予定です。

北陽高中体育館(仮称)イメージパース



ウ 一高・一中プール建替工事

昭和40年に建設した老朽化が進んでいる一高・一中プールを、「関西大学第一高等学校・第一中学校創立100周年記念事業」として、平成24年度から平成25年度の2年間で建て替え、体育・スポーツ活動のより一層の充実を図ります。

一高・一中プールイメージパース(構想中)



3 収支予算書

予算時も年度末財政をより分かりやすく

予算書については、私立学校振興助成法による学校法人会計基準に定められた『資金収支予算書』と『消費収支予算書』の2種類を作成することになっています。

『資金収支予算書』は、当該年度における学校法人全体の諸活動の計画を、予算編成を通じて計数化することにより、収入と支出を科目別に明らかにし、かつ、支払資金の収入と支出のてん末を明らかにするものです。

『消費収支予算書』は、当該年度における学校法人全体の諸活動の計画を、消費収支計算の基準に基づいて計数として表示したものです。その年度の予算における消費収支の均衡状況とその内容を明らかにし、学校法人の経営状況が健全に維持されているかどうかを示すものです。この計算書は、いわば企業会計の損益計算書にあたるものです。

『貸借対照表』は、学校法人の一定時点における資産、負債、基本金、消費収支差額をもって財政状態を示すものです。決算時に作成することになっていますが、本学では予算時にも年度末の財政状態

をより分かりやすくするために『予想貸借対照表』を作成しています。具体的には、平成22年度決算の『貸借対照表』に平成23年度補正後予算を加味して平成23年度末とし、さらに平成24年度予算を加味して平成24年度末の財政状態を予想したものです。

4 収支予算の概要

(1) 資金収支予算について

平成24年度資金収支予算は、12頁に掲載の『資金収支予算書(総括)』のとおりです。

資金収入は、学生生徒等納付金収入、手数料収入、補助金収入などの法人に帰属する収入の他、前受金収入なども含め、515億7,300万円となりました。

資金支出は、教職員の人件費、教育研究活動および法人の運営に必要な諸経費、施設設備費の他、借入金返済などの支出も含め、509億5,400万円となりました。この結果、差し引き6億1,900万円を前年度繰越支払資金120億円に加え、次年度繰越支払資金は126億1,900万円となりました。

(2) 消費収支予算について

平成24年度消費収支予算は、12頁に掲載の『消費収支予算書(総括)』のとおりです。

帰属収入は、学生生徒等納付金、手数料、補助金などの法人に帰属する収入で、477億2,300万円となり、対前年度比較で6億8,100万円の増となりました。基本金組入額は、施設設備あるいは将来の施設取得に係る積立金や基金などに充当するもので、15億500万円となり、対前年度比較で13億円の減となりました。帰属収入から基本金組入額を控除して消費支出に充当することができる消費収入は、462億1,800万円となり、対前年度比較で19億8,100万円の増となりました。

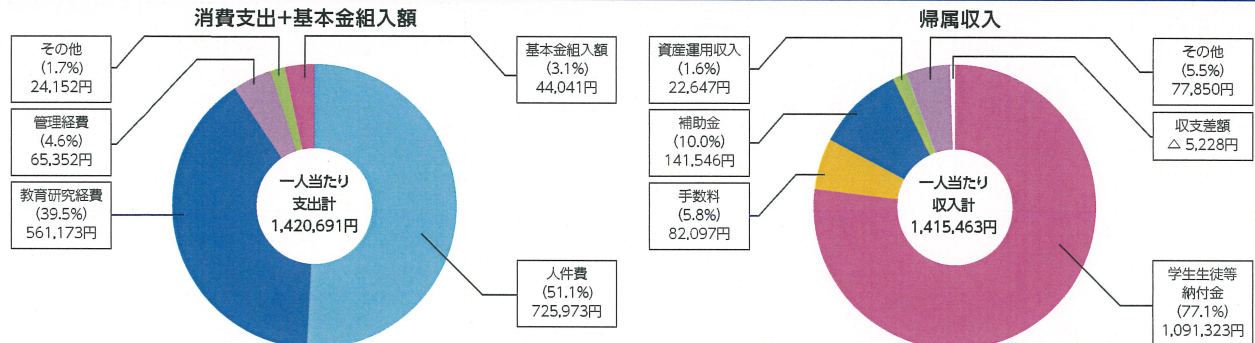
消費支出は、教職員の人件費、教育研究活動および法人の運営に必要な諸経費で、463億9,500万円となり、対前年度比較で55億6,100万円の減となりました。平成24年度予算における消費収支の均衡状況を表す消費収支差額は、1億7,700万円の支出超過となり、対前年度比較で75億4,200万円の減となりました。この結果、次年度へ繰越することになる繰越消費支出超過額は、前年度からの繰越消費支出超過額417億7,100万円に、当年度消費支出超過額1億7,700万円を加え、419億4,800万円となりました。

また、この累積消費支出超過額に加え、建物などの取得に際し、借り入れた借入金の未返済額にあたる基本金未組入額が79億3,300万円あり、この2つをあわせた498億8,100万円が実質上の繰越消費支出超過額となります。

平成24年度の予算書をはじめ、関西大学の財務情報を「関西大学ウェブサイト」に掲載しておりますので、一度ご覧ください。

<http://www.kansai-u.ac.jp/zaimu/>

平成24年度消費収支予算における「学生生徒等一人当たりの支出とこれを賄う収入」



(注) 1 (消費支出+基本金組入額)および帰属収入の予算額を、科目ごとにそれぞれ予算学生数33,716人(大学院・学部・留学生別科・高校・中学校・小学校・幼稚園の学費納入者合計)で除して、学生生徒等1人当たりの平均値を示したものです。
2 「基本金組入額」とは、校地、校舎、機器備品、図書などの取得、あるいは、そのための借入金の返済、または将来取得のための積立金などの主として資本的支出に充てる額です。

資金収支予算書(総括) 平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

支出の部				収入の部			
科 目	24年度予算	23年度予算	増 減	科 目	24年度予算	23年度予算	増 減
1 人件費支出	24,470,297	24,021,278	449,019	1 学生生徒等納付金収入	36,810,257	36,175,327	634,930
2 教育研究経費支出	13,002,223	12,621,798	380,425	2 手数料収入	2,751,232	2,784,177	△ 32,945
3 管理経費支出	1,959,413	2,077,089	△ 117,676	3 寄付金収入	400,000	300,000	100,000
4 借入金等利息支出	102,187	79,460	22,727	4 補助金収入	4,789,479	4,930,713	△ 141,234
5 借入金等返済支出	765,310	761,630	3,680	5 資産運用収入	754,841	768,351	△ 13,510
6 施設関係支出	1,956,419	4,049,486	△ 2,093,067	6 資産売却収入	468,695	300,000	168,695
7 設備関係支出	1,348,208	1,820,371	△ 472,163	7 事業収入	1,078,506	940,201	138,305
8 資産運用支出	5,431,068	6,787,160	△ 1,356,092	8 雑収入	997,392	991,845	5,547
9 その他の支出	2,759,770	3,150,746	△ 390,976	9 借入金等収入	1,720,000	3,051,000	△ 1,331,000
10 予備費	600,000	600,000	0	10 前受金収入	6,328,261	6,673,664	△ 345,403
11 資金支出調整勘定	△ 1,441,167	△ 1,373,984	△ 67,183	11 その他の収入	2,739,547	4,761,738	△ 2,022,191
(小計)	(50,953,728)	(54,595,034)	△ 3,641,306	12 資金収入調整勘定	△ 7,265,300	△ 7,447,550	182,250
12 次年度繰越支払資金	12,618,926	11,999,744	619,182	(小計)	(51,572,910)	(54,229,466)	△ 2,656,556
支出の部 合計	63,572,654	66,594,778	△ 3,022,124	13 前年度繰越支払資金	11,999,744	12,365,312	△ 365,568
				収入の部 合計	63,572,654	66,594,778	△ 3,022,124

(注) [23年度予算]は第3次補正後予算を示します。

消費収支予算書(総括) 平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

消費支出の部				消費収入の部			
科 目	24年度予算	23年度予算	増 減	科 目	24年度予算	23年度予算	増 減
1 人件費	24,451,331	30,311,609	△ 5,860,278	1 学生生徒等納付金	36,810,257	36,175,327	634,930
2 教育研究経費	18,926,690	18,566,443	360,247	2 手数料	2,751,232	2,784,177	△ 32,945
3 管理経費	2,216,861	2,379,258	△ 162,397	3 寄付金	540,000	452,000	88,000
4 借入金等利息	102,187	79,460	22,727	4 補助金	4,789,479	4,930,713	△ 141,234
5 資産処分差額	98,136	19,327	78,809	5 資産運用収入	754,841	768,351	△ 13,510
6 徴収不能引当金繰入額	0	0	0	6 資産売却差額	2,050	150	1,900
7 徴収不能額	0	0	0	7 事業収入	1,078,506	940,201	138,305
8 予備費	600,000	600,000	0	8 雑収入	997,392	991,845	5,547
消費支出の部 合計	46,395,205	51,956,097	△ 5,560,892	帰属収入合計	47,723,757	47,042,764	680,993
合計	46,395,205	51,956,097	△ 5,560,892	基本金組入額合計	△ 1,504,819	△ 2,805,451	1,300,632
当年度消費支出超過額	176,267	7,718,784	△ 7,542,517	消費収入の部合計	46,218,938	44,237,313	1,981,625
前年度繰越消費支出超過額	41,771,470	34,052,686	7,718,784	当年度消費支出超過額	176,267	7,718,784	△ 7,542,517
翌年度繰越消費支出超過額	41,947,737	41,771,470	176,267	合計	46,395,205	51,956,097	△ 5,560,892

(注) [23年度予算]は第3次補正後予算を示します。

予想貸借対照表 平成25年3月31日

資産の部				負債の部			
科 目	24年度末	23年度末	増 減	科 目	24年度末	23年度末	増 減
資産の部				負債の部			
固定資産	190,185,099	187,912,675	2,272,424	固定負債	20,413,722	19,789,108	624,614
有形固定資産	112,769,937	115,523,836	△ 2,753,899	流動負債	9,433,473	9,305,261	128,212
その他の固定資産	77,415,162	72,388,839	5,026,323	負債の部 合計	29,847,195	29,094,369	752,826
流動資産	13,623,354	13,814,400	△ 191,046				
資産の部 合計	203,808,453	201,727,075	2,081,378				
負債の部							
固定負債	20,413,722	19,789,108	624,614				
流動負債	9,433,473	9,305,261	128,212				
負債の部 合計	29,847,195	29,094,369	752,826				